

NEWS & TOPICS

農業大学校便い

「一般入学試験」の願書受付のお知らせ

受付期間 12月1日(木)～15日(木)
試験日 12月20日(火)

農業や環境・食料に関心のある
高校生の皆さん、県内の同じ思
いを持った学生と一緒に農業大
学校で寮生活を始めませんか!!

出張!和農市 IN かつらぎ。

11月3日、かつらぎ町の平和公園で
開催された「第23回産業まつり」で出
張和農市を実施しました。当日はあい
にくの小雨模様でしたが、新鮮な農産
物を目当てに、地元かつらぎ町のお客
さんがたくさん立ち寄りくださって品
物を吟味。地元特産のカキの売れ行き
はひととつでした。



シリーズ「今日のお昼ご飯」第20回



「マツタケ」と聞けば何となくうれし
くなり、高級感が漂いますが、この日は
松茸ご飯!これに焼き魚、根菜類を
炊いたおかずなど二品、もずく、そして
素麺の入ったお吸い物。更にパイナッ
プル入ったヨーグルト。食欲の秋、つい
ついご飯の量も多くなります。

1年生、香川・徳島へ県外研修。

10月12～14日の県外研修は初日
に香川県の「近畿中国四国農業研究セ
ンター」。翌日は模擬会社を興した「徳
島県農業大学校」を訪問。「徳島農大
ぞらぞうじゃ」の設立の経緯や運営に
ついて詳しく聞き、農大産農産物の使っ
た加工品の開発や販売方法(6次産業
化)に学生も強い関心を持ちました。



「10月20日」の実習風景。



傷みやすいので取り扱い注意。



養分を必要なところへまわします。

暖かい日が続いて、農産物は秋の収穫
時期を迎えています。特に果樹では、
この地域特産のカキ(平核無)を始めと
する果実の収穫が行われています(写
真左)。また、野菜も葉菜類の収穫が行
われる中、温室ではトマトの芽欠きが行
われ(写真右上)、花きではガーベラの
収穫と出荷調整が行われていました
(写真左下)。



1本1本でいねいに包装します。

「西寮玄関付近から出火!」防災訓練。



この連絡を受けた学生は消火器を持って
現場に急行、同時にその他の学生はグラ
ウンドに避難し、点呼を受けました。その後
消火器による模擬消火の練習と消火栓
からの放水を行いました。先月も地震等
を対象とした減災教室を実施したところ
ですが、いつ、どんな形で被災するか分
りません。日頃の意識が大切です。

3級フラワー装飾取得に向けて。特別講義。

2回に分けて行われるフラワー装飾の
特別講義は、1年生、2年生、そして社
会人と3クラスに別れて行われていま
す。基本の形を教えてもらいますが、そ
の後は学生一人一人がイメージするス
タイルを作り上げていきました。制作し
た寄せ植えは部屋に持ち帰って実習の
疲れを癒してくれるものと思われま
す。



第32号

平成23年
11月
発行
和歌山県
農業大学校

農大スイーツ試作開始。料理同好会。

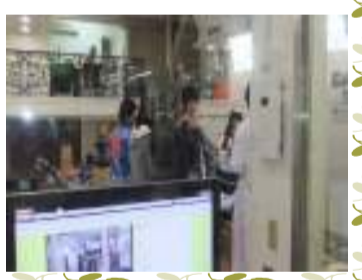
今年は社会人課程の方が栽培したサ
ツマイモを原料にすることが決まっ
ており、スイートポテトやヨウカンなどの試
作と味見が繰り返されています。この
成果は12月4日の農大祭にてお確
かめ下さい。きっと新たなおいしさに出会
えると思います。



「WSTVスマイルスタジオ」から和農大を発信!!



和歌山市のフラグ1丁に
インターネットテレビ局が
開設され、10月30日に
農大生が出演。農大の魅
力をアピールしました。皆
さんもパソコンから一度
覗いてみてください。



早朝から市場流通研修、2年生。

農産物の多くは卸売市場を経由するのが主
流です。その中心機能を果たす卸売業者で
5日間にわたって勤務。セリの現場を体感し、
配達などの作業を行いました。また、各地か
ら集まる農産物の荷姿や品質などを直接見
られたことは、農産物を「商品」として認識
し、これからの農産物生産や購入にあたって
の知識を得られたことだと思います。



セリにかけられるリンゴの様子。
様々な階級や等級が並べられます。



各地から多彩な農産物が集
まります。アイスクリーム
の味がする「チェリモア」
和歌山で生産されています。



ターレットはフォークリフ
とともに市場内を疾駆。

セリ開始前。この後仲卸業者らが激
しい競り合いを行います。



専修学校

和歌山県農業大学校

〒649-7112 和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降422

TEL 0736-22-2203 FAX 0736-22-7402

HPアドレス <http://www.ag-wakayama.ac.jp/>

メールアドレス wa_noudai@ag-wakayama.ac.jp